

### 各会計決算審査特別委員会での主な質疑

開催日 平成28年10月31日・11月1日・2日  
 委員長 石渡 徹男  
 副委員長 清宮 利男  
 委員 坂本 賀一・上野 高志・相京 邦彦・佐久間 治行・石田 明

#### 第3号議案 平成27年度東金市一般会計決算の認定について

- 問** 市当局が考えている財政調整基金の下限額は。  
**答** 財政調整基金の下限値は、自然災害・予期せぬことが起きたときのために20億円程度を維持していきたい。
- 問** 法人市民税の不納欠損額が、平成25年から平成27年の間、毎年増えている要因は。  
**答** 財産調査を強化し、法人の申告書を調査する等、積極的に滞納処分の執行停止を行うことにより滞納処分の執行停止からの不納欠損が増加しているのが要因である。
- 問** 平成27年度のデマンドタクシーの運行状況と、将来的な市内循環バスとの関係をどう考えるか。  
**答** 平成27年度のデマンドタクシーの利用者は16,023人、平成26年度と比較して1,378人の増、14.9%の増率となっている。今後については先日開催された、東金市地域公共交通会議において、効率的な運行見直しについて審議が行われ、運行評価基準を設定しながら持続可能な公共交通ネットワークを構築したい。
- 問** 生活保護費で、被保護者が増加している要因と今後の対策は。  
**答** 被保護者が増加している要因は無年金、低年金の高齢者世帯の増加や傷病が原因で申請する世帯の増加によるものと考え。今後の対策は、就労支援に更に力を入れ、被保護者の自立促進を図ること、生活困窮者自立支援制度により、生活困窮者への自立支援を積極的にいき、生活保護に陥らないよう、自立促進に努めたい。
- 問** 水田農業等推進事業で、増額決算となった取り組みに対して、補助額が国や県、市から農業者へどのくらい支払われたのか。  
**答** 平成27年度に国から直接支払われた金額は約2億9千万円、県が約370万円、市が約2千万円となっており、国、県、市を合わせると、取り組みをした農業者数202名に対し、約3億2千万円が助成された。
- 問** 家庭教育指導員の主な活動内容と人数は。  
**答** 指導員は2名で、勤務時間は9時から16時まで。平成27年度の実績は来客相談150件、電話相談229件、合計379件。主な活動内容は不登校、発達障害、いじめ等の相談を受け、その相談内容に応じて支援する、例えば、子どもと親のサポートセンターや学校と連携して対応している。

#### 第4号議案 平成27年度東金市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

- 問** 保険給付費が増加した理由と本市の特徴は。  
**答** 平成27年度の医療費では新生物が前年度比14.4%の増率と最も伸びたことによるもの。本市における新生物の順位では、肺がんが平成24年度の6位から平成27年度では1位となっている。
- 問** 保険給付費を抑えるために行った施策は。  
**答** 特定健診や人間ドックへの助成事業、健康増進課の事業である健康マイレージを実施し、保険にかかる前の医療費抑制に取り組んでいる。

#### 第5号議案 平成27年度東金市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

- 問** 後期高齢者医療保険料の軽減措置が拡充されたことに伴う平成27年度決算への影響は。  
**答** 5割軽減の対象者が56人の増、軽減額が91万7,511円の増額、2割軽減の対象者が59人の増、軽減額が38万1,195円の増額である。

#### 10月31日午前中、現地視察を行う決算審査特別委員



東金中学校校舎新築工事及び武道館耐震補強工事

#### 第6号議案 平成27年度東金市介護保険事業特別会計決算の認定について

- 問** 認知症予防教室委託の内容は。  
**答** 市内に住む65歳以上の方を対象に、認知症の予防効果のある学習や活動を、専門的な知識や経験がある者に委託して12回を1コースで実施した。

#### 第7号議案 平成27年度東金市介護予防支援事業特別会計決算の認定について

- 問** 介護予防支援事業特別会計の内容と平成27年度の動向は。  
**答** この特別会計は、地域包括支援センターで行っている要支援1及び2の認定者に対する予防給付ケアプランの作成に対し、介護保険法第3条及び同法施行令第1条の規定に基づく、介護サービス事業の特別会計であり、事業の対象となる要支援1及び2の方のサービス利用の増加に伴い、歳入歳出ともに増加傾向となっている。

#### 第8号議案 平成27年度東金市下水道事業特別会計決算の認定について

- 問** 一般会計繰入金は、対前年度19.8%の増となっているが、今後の動向は。  
**答** 第4期基本計画の5箇年の中では、4億8千万円から5億8千万円程度で推移するものと想定しており、そのほとんどが公債費の償還に充てられることから、償還計画に沿って繰入金も減少していくと考える。

#### 第9号議案 平成27年度東金市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

- 問** 施設改修費が増加傾向にあるが、施設全体としての改修方針は。  
**答** 公共下水道の長寿命化計画にあたる最適整備構想を策定し、計画的な改修に努めたい。

#### 第10号議案 平成27年度東金市病院事業特別会計決算の認定について

- 問** 県支出金の平成27年度末までの交付額と平成28年度以降の交付予定額は。  
**答** 平成27年度末までの交付額は15億5,260万円、平成28年度以降の交付予定額は37億6,140万円である。
- 問** 繰出基準の2分の1の負担ルールに基づく、平成26年度及び平成27年度の法人負担分の元利償還額は。  
**答** 平成26年度は1,972万9,538円で、平成27年度は1億1,692万8,352円である。

#### 第12号議案 平成27年度東金市ガス事業会計決算の認定について

- 問** 供給戸数が55戸増加しているにもかかわらず、販売量が35万m<sup>3</sup>減少している原因は。  
**答** 暖冬の影響によるものである。過去の傾向から、冬の気温が1℃違うことで、一般家庭で1箇月あたり約8m<sup>3</sup>の差が出る。

謹んで哀悼の意を表します



斉藤範吉議員(享年65歳)は、去る12月5日逝去されました。

議員に当選されてから、2期7年有余にわたり活躍され、この間、総務常任委員会委員長などの要職を歴任、議会人として地方自治の進展と、本市の発展に大きな功績を残されました。  
 ご冥福をお祈りいたします。

#### 平成28年度議会報編集委員会

委員長 宮山 博 副委員長 土肥 紀英 委員 上野 高志 相京 邦彦 佐久間 治行 清宮 利男